

各高等学校長 様

千葉県高等学校教育研究会
数学部会部会長 三木 千恵子
(公印省略)

平成29年度千葉県高等学校教育研究会数学部会総会・春季研究大会の
開催について(依頼)

このことについて、下記のとおり開催いたします。
つきましては、貴校関係職員の派遣について格別の御高配をお願い申し上げます。

記

1	主 催	千葉県高等学校教育研究会数学部会
2	後 援	千葉県教育委員会
3	期 日	平成29年6月7日(水)
4	会 場	千葉県立長生高等学校 (茂原市高師286)
5	日 程	受付(弁当注文) 9:00~9:40 公開授業(2限) 9:40~10:25 総 会 10:40~11:40 連絡事項 11:40~11:50 昼食・休憩 11:50~12:50 研究発表 12:50~13:50 講 演 14:00~15:30 研究協議 15:30~16:00 閉 会 16:00

6 内 容

(1) 総会

- ① 挨拶(部会長, 教育委員会, 会場校校長, 会場校数学科主任)
- ② 議長選出
- ③ 議事
ア 平成28年度事業報告
イ 平成28年度収支決算報告, 監査報告
ウ 平成29年度事業計画案審議
エ 平成29年度予算案審議
オ 平成29年度地区委員選出及び部会長推薦, 会計監査承認
カ その他の役員委嘱
キ その他

(2) 研究発表

- ① 「学習内容の定着を図る授業の取組
—授業終了前の確認演習から主体的な学習活動につなげる—」
千葉県立木更津高等学校 鈴木 克利 先生
- ② 「平成29年度大学入試センター試験(数学)のアンケート調査結果について」
千葉県立安房高等学校 粕谷 真由美 先生
千葉県立船橋高等学校 長内 恵里奈 先生

(3) 講 演

演 題 「ロボットは数学の大学入試問題をどうやって解くか？」
講 師 筑波大学 数理物質系 数学域 准教授
人工知能科学センター
照井 章 先生
(講演の詳細については別紙参照)

7 参 加 費

1名あたり2,000円(当日受付にてお支払いください)

8 その他

(1) 参加申込方法

別紙のファクシミリ送付票をFAXにより、平成29年5月22日(月)までにお願ひします。電話での申し込みは御遠慮ください。

申込先	千葉県立沼南高等学校内 千葉県高等学校教育研究会数学部会事務局 加藤 純一 宛 FAX 04-7193-5504
-----	---

尚、平成29年度千葉県高等学校教育研究会数学部会総会に出席できない場合は、別紙のファクシミリ送付票の委任状の欄に、学校番号、貴校名および貴校数学科主任のお名前を記入して送付してください。(押印の必要はありません。)

- (2) 昼食を注文することができます。希望の有無をファクシミリ送付票に御記入ください。希望された方は当日受付時に、代金をお支払いの上、引換券をお受け取りください。ファクシミリ送付票で注文されても、受付時間終了時(9時40分)までに間に合わない場合は注文を取り消しますので御了承願ひます。
- (3) **会場校には、駐車場がありませんので車での来校は禁止します。**電車・バス等を御利用ください。また、敷地内は全面禁煙です。御協力をお願いいたします。
- (4) 会場周辺図及び交通機関



【交通機関】

JR外房線 茂原駅東口より徒歩15分

部会では、編集委員、研究委員を募集しています。希望される方は、ファクシミリ送付票に記入してください。

また、研究大会の発表者、部会誌の原稿を募集しています。発表または寄稿を希望される方は、下記の委員まで御連絡ください。

- ・ 研究大会の発表 …… 研究委員長 千葉県立犢橋高等学校 荒武 亜美
- ・ 部会誌の原稿 …… 編集委員長 千葉県立薬園台高等学校 田口 亜紀子

演 題 「ロボットは数学の大学入試問題を どうやって解くか？」

講 師 筑波大学数理解物質系数学域准教授
人工知能科学センター
てるい あきら
照井 章 先生

講師プロフィール

岩手県生まれ。筑波大学第一学群自然科学類卒，筑波大学大学院博士課程数学研究科中退。筑波大学数学系助手等を経て現職。

専門は計算機代数，数式処理，数式・数値融合計算。計算機上で数式の計算，特に多項式や行列を対象とした代数計算を行うためのアルゴリズムの開発や，その応用に取り組んでいる。国立情報学研究所が中心となって進める人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」に2014年より参加。

大学での微積分，線形代数などの講義をビデオ収録し，動画共有サービス YouTube

(<https://www.youtube.com/user/atelieraterui>)に公開しており，国内外から反響を呼んでいる。



講演の概要（照井先生の言葉より）

近年，人工知能技術が発達し，新たなブームとも見られる現象が起こっています。ここでは，いわゆる「ディープラーニング」のような，機械学習を中心とする技術がよく話題に登りますが，私が参加している人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」の理数系チームでは，自然言語処理と数式処理を組み合わせたアルゴリズムの開発により，数学の大学入試問題の求解にチャレンジしています。

本講演では，数式処理を用いた数学問題の求解に関する理論や手法の基礎を紹介し，こうした技術がこれからの数学教育に及ぼす影響や，それらを踏まえた今後の数学教育のあり方について，考えたいと思います。

ファクシミリ送付票

送付年月日 平成 2 9 年 月 日 [締切：5月22日(月)]

あて先

千葉県立沼南高等学校内
千葉県高等学校教育研究会数学部会事務局
加藤 純一 行
FAX 04-7193-5504

件名

平成29年度千葉県高等学校教育研究会数学部会
総会・春季研究大会 参加申込について

枚数

送付票を含めて 1 枚

取り扱い

後日送付 (無 ・ 有)

送付者

学校番号 () 学校名 ()
氏名 ()

平成29年度千葉県高等学校教育研究会数学部会 総会・春季研究大会 に

1 参加します 2 欠席します (該当する番号を○で囲んでください。)

【参加する場合】

参加者氏名		
弁当希望の有無	有 ・ 無	(弁当希望個数 個)

※弁当は600円です。

【欠席する場合】

下記の委任状に、学校番号、貴校名、貴校数学科主任名を御記入ください。

委 任 状

平成29年度千葉県高等学校教育研究会数学部会総会の議事については、
議長に一任します。

学校番号 _____ 学校名 _____

数学科主任名 _____

◎ 編集委員、研究委員を希望される方は、御記入ください。

編集委員希望者氏名 ()

研究委員希望者氏名 ()